

平成十六年度 夏季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「夏」

期間 平成十六年五月一日～七月末

投句数 三、四四七句

特選三句

天

仲良しが二人で泳ぐ由比が浜

神奈川県横浜市 高野昭男

地

揚羽蝶追って駈け込む東慶寺

東京都大田区 小林幸八郎

人

遷宮の成りし階青葉風

東京都世田谷区 坂野民子

入選二十句

木下闇絵馬重なりて風鳴らす

神奈川県横浜市

星野文子

鎌倉や燕來る日の切通し

神奈川県横浜市

山下省三

老鶯の誘ふ夕かげ谷戸に濃し

千葉県松戸市

高瀬竟二

無住寺の天水桶に水馬

神奈川県鎌倉市

佐々木一馬

滴りの石打つ音や虚子の墓

福岡県福岡市

木本とし子

総門を白蝶と入る栄西忌

神奈川県逗子市

佐藤信子

紫陽花が道狭ばめたる古都の雨

神奈川県横須賀市

山口義一

海風の山門くぐり來て蓮見

東京都世田谷区

中村芳子

もう一度手を振る別れ駅晩夏

神奈川県横浜市

野口常子

緑陰や俳句ポストに海の風

神奈川県鎌倉市

柳 静子

谷戸奥の文士旧跡梅干さる

神奈川県鎌倉市

小林貞夫

だいぶつはおおきすぎるよなつのそら

神奈川県横浜市

濱 竜輝

夏休み鎌倉にでもいこうかな

群馬県前橋市

加藤大祐

あめんぼう真昼の貌となりにけり

神奈川県横浜市

大森富美子

腰越の海を見つめて桜桃忌

神奈川県鎌倉市

土山忠滋

鰐口の一打につづく初音かな

神奈川県逗子市

三井日果

どこまでも水音つきくる竹の春

神奈川県横浜市

井出佳子

卯の花の頷き合うて風立ちぬ

神奈川県鎌倉市

本間雅之

虚子の字の御成校門夏つばめ

神奈川県鎌倉市

釵持善夫

鎌倉の道に迷えり夏帽子

茨城県鹿嶋市

粟屋トク

(順不同)